

授業科目	* 英語学概論 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN21205J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP5-1			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	英語学とは英語という言葉を経々な角度から探求していく学問である。私たちが日頃使っていることばに焦点をあて、人間のことばの面白さや深さを探っていく授業である。英語学概論 I は、英語学の入門である。英語学で扱う分野のうち、英語学概論 I では、音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、コーパス言語学の基礎的な考え方を学習する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語発展の歴史の概略を理解できる。</li> <li>2. 音声学・音韻論の基礎を理解できる。</li> <li>3. 形態論の基礎を理解できる。</li> <li>4. 統語論の基礎を理解できる。</li> <li>5. 意味論の基礎を理解できる。</li> <li>6. コーパス言語学の基礎を理解できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0		20	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20						20	
知識・理解 (DP1-2)	20	0		15	10		45	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10			5	5	0	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	10				5		15	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.英語の歴史、音声学と音韻論、形態論、統語論、意味論、コーパス言語学について学習したことを理解し他者に説明できる。 2. 音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論で学習した理論のうちいくつかを応用して英語の特徴的な現象を自分なりに分析することができる。				英語の歴史、音声学と音韻論、形態論、統語論、意味論、コーパス言語学について基礎的知識を身に付けている。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	言語学、英語学とは 人間のことばを研究するとはどういうことか「英語学」 の様々な分野の見方を理解しよう	授業方針の説明、 講義	指定された教科書を購入して 持参すること。	
2	英語の歴史 英語の歴史を概観し、英語のバリエーションについて 考えよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
3	音声学・音韻論(音素と異音) なぜ water を「ウォラー」want to を「ウアナ」のように 発音するのか。[t]でも実際には様々な発音に変化す ることを知ろう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
4	音声学・音韻論(アクセント) なぜ外来語として日本語に入ってくると元の英語とア クセントの位置が変わるのか音節とアクセントについ て理解しよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
5	音声学・音韻論(リズムとイントネーション、音変化) なぜ Native speaker の早い英語は聴き取れないのか そのからくりを理解しよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
6	形態論 英語という言葉はどんなパーツからできているのか理 解しよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
7	形態論 英語では新しい単語がどうやってつくられるのかその メカニズムを理解しよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
8	統語論 英語の文の構造を知るために、まず英語の句構造に ついて理解を深めよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
9	統語論 英語の文の内部構造を理解しよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
10	意味論 ことばの意味とは何だろう。語と語の間の意味関係も 考えてみよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
11	意味論 意味の拡張(メタファー、メトニミー)のしくみを考えよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
12	意味論 ことばの意味に見られる主観性とコンテキストに意識 を向けてみよう	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
13	意味論 まとまりのある文章の結束性と情報構造について知ろ う	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
14	コーパス言語学 コーパスを使うと何ができるようになるのかを理解しよ う	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
15	これまでの学習の総括と理解度確認のための試験	試験、講義	全体の復習をし学んだことを しっかり整理すること	60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>中学・高校や大学1年生までに学習した英単語、英語の発音や英文法についてのしっかりとした基礎理解。 言葉や表現に対する興味関心。 「学問」に対する興味・理解力。</p>			
テキスト	『はじめての英語学 改訂版』 長谷川瑞穂編著 研究社 ISBN 978-4-327-40165-8			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能： ○本当にわかる言語学：フシギなくらい見えてくる! ○言語学入門：これから始める人のための入門書 ○明解言語学辞典 ○言語学が好きになる本 ○First steps in English linguistics 2 版</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>英語を様々な角度から分析していくことで、英語だけでなく日本語にも関心を持つことができるようになる。 我々が無意識に使っていることばは、ふと立ち止まって「なぜこう言うんだろう」と意識を向け始めると実に面白い現象がたくさん詰まっている。英語を分析するためには英語の基礎力が求められるため、英語に関する知識は他の授業でも貪欲に身につけるようにしよう。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>試験(60%) 授業内で学習した英語学の各分野の基礎的な知識の理解度を筆記試験で測る。 発表(20%) 授業で学習したことを応用して英語の様々な現象について自分なりの説明を発表する。 その他の提出物(20%) 教科書に載っている課題にしっかり取り組み、提出の指示があったものは期限内に提出すること。 【課題に対するフィードバック】 試験は成績発表後に解答例を提示する。 発表へのコメントは授業内に行い、提出された課題にはコメントをつけて返却する。</p>			

